

# 危機管理

基本方針	基本政策	基本施策	取組	具体的な取組	
生活環境	災害に強いまちと感ずることができる	自助による災害対応体制の推進  【KPI】3日分以上の災害用備蓄をしている人の割合 22.2% ⇒ 50.0%	富士見防災リーダー等の養成 【KSF】富士見防災リーダー認証者数 125人⇒165人	富士見防災リーダー養成講座の実施 富士見市防災リーダー指導員養成研修会の実施	
			市民の災害用備蓄の促進 【KSF】災害用備蓄に関する啓発回数 13回/年（平成30年度） ⇒ 20回/年	富士見市防災ガイドブック等による備蓄の啓発 備蓄促進に係る出前講座の実施	
			住宅の耐震化の支援 【KSF】耐震診断・改修補助金活用件数 22件⇒32件	旧耐震基準の住宅に対する戸別訪問 無料耐震診断・耐震改修相談会の実施 補助金制度の実施	
			危険なブロック塀や擁壁等の改善促進 【KSF】指導による改善数 5件 ⇒ 20件	パトロール及び指導の実施 ブロック塀等の撤去工事補助金の実施	
			家庭における家具転倒防止器具取付の促進 【KSF】家具転倒防止器具取付事業実施件数 2件 ⇒ 20件	家具転倒防止器具取付事業の推進 家庭における家具転倒防止器具取付の周知	
	(5年後の目指す状態)	地域防災力の向上	共助による災害対応体制の推進	自主防災組織結成の促進 【KSF】自主防災組織組織率 75.8%⇒100%	富士見市自主防災組織育成補助金の交付 自主防災組織に係る出前講座の実施等による啓発
				防災連絡会結成の促進 【KSF】防災連絡会組織率 27.3%⇒60%	富士見市防災連絡会活動支援事業補助金の交付 防災連絡会に係る出前講座の実施等による啓発
			【KPI】防災訓練の参加者数（延べ人数） 9,811人（平成30年度）⇒17,000人	防災訓練の実施 【KSF】訓練開催小学校数 6校/11校⇒10校/11校	小学校区合同防災訓練の実施 富士見市総合防災訓練の実施
	公助による災害対応体制の推進	地域防災計画等の見直し及び周知 【KSF】富士見市防災ガイドブックの検証・見直し	各種災害対応計画等の整備・改定・周知 富士見市防災ガイドブック（ハザードマップ）の見直し及び周知		
		備蓄計画に基づく災害用備蓄品の配備 【KSF】備蓄計画に定めた食料備蓄量に対する充足率 79.5% ⇒ 100%	計画的な避難者等のための備蓄食料の配備 計画的な避難者等のための備蓄物資（トイレ等）の配備		

<p>【数値目標】 地域防災力の向上に対する 満足度（意識調査） 50.0%⇒70.0%</p>
--

<p>【KPI】富士見市防災ガイドブックの認知度 75%（未取得）</p>	<p>消防・警察・自衛隊等の関係機関との連携体制の整備 【KSF】関係機関と連携した訓練実施 1回/年 ⇒ 2回/年</p>	<p>消防団員との連携、人員確保のための支援 合同での防災訓練の実施</p>
	<p>民間事業者や他自治体と連携した防災体制の推進 【KSF】災害協定締結数 40協定⇒50協定</p>	<p>民間事業者や他自治体との災害協定の締結 協定を締結した民間事業者や他自治体との防災訓練の実施</p>

基本方針	基本政策
生活環境	<p>さまざまな危機事案の予防と被害抑制により安心・安全なまちで暮らすことができる。</p>
	<p><b>（5年後の目指す状態）</b></p> <p>危機事案に対する備えの強化</p> <p style="text-align: center;">【数値目標】 国・県の計画・指針に対する市の計画の充足率 100%（維持）</p>

基本施策	取組	具体的な取組
<p>危機事案に対する事前準備の推進</p> <p>【KPI】個別マニュアルの整備 危機事案別の個別マニュアル整備割合 100%</p>	<p>危機管理マニュアルの見直し 【KSF】危機管理マニュアルの点検の実施</p>	<p>富士見市危機管理マニュアルの運用・見直し</p>
	<p>その他個別計画の点検 【KSF】国民保護計画・富士見市業務継続計画（BCP）の点検の実施</p>	<p>国や県計画に即した国民保護計画の運用・見直し 国や県計画に即した避難実施要領パターンの運用・見直し 国や県計画に即した富士見市業務継続計画（BCP）の運用・見直し</p>
<p>危機管理マニュアル等に基づく対策の推進</p> <p>【KPI】想定される危機に対する予防対策の実施割合 100%</p>	<p>危機予防対策 【KSF】各部署における個別マニュアルの策定の実施</p>	<p>危機の発生可能性と影響度の分析 予防対策の実施</p>
	<p>緊急対応のための教育・訓練の実施 【KSF】対策訓練の実施回数 1回/年⇒1回/年以上</p>	<p>各個別マニュアル等に基づく対策訓練・シミュレーションの実施</p>
	<p>情報収集・連絡体制の整備 【KSF】情報収集・連絡体制の点検の実施</p>	<p>連絡体制・情報連絡網の点検 危機情報の共有体制の確立</p>
	<p>消防・警察・自衛隊等の関係機関との連携体制の整備 【KSF】関係機関と連携した訓練実施回数 1回/年 ⇒ 2回/年</p>	<p>関係機関と連携した訓練の実施 関係機関との情報共有体制の確立</p>

# 防犯・交通安全

基本方針	基本政策	基本施策	取組	具体的な取組
生活環境	犯罪が起きないまちで生活ができる	防犯意識の醸成 【KPI】日頃から防犯を心掛けている市民の割合（未取得）	広報・啓発活動の推進 【KSF】情報発信回数 12回/年⇒15回/年	広報・HP等での防犯情報発信 市内イベント・キャンペーンでの防犯啓発品配布 防犯出前講座の実施 特殊詐欺等対策の啓発 835運動の推進
	(5年後の目指す姿) 市内犯罪率の減少  【数値目標】 市内犯罪率(人口千人あたりの 刑法犯認知件数) 10.78件/年 ⇒ 8.67件/年	地域防犯力の向上  【KPI】市内街頭犯罪発生件数 598件/年⇒479件/年	自主防犯活動の推進 【KSF】自主防犯組織の結成率100%⇒維持  防犯環境の整備及び推進 【KSF】防犯カメラの設置数 20台 ⇒ 30台以上	自主的な防犯活動の推進 リーダーの養成 関係機関・団体との連携と情報共有  防犯機器（防犯カメラ等）の普及と活用 振り込め詐欺対策電話機等購入費補助

基本方針	基本政策	基本施策	取組	具体的な取組
生活環境	交通事故にあわない生活ができる	歩行者の安全確保の推進	通学路の安全確保 【KSF】交通指導員の立哨箇所 32か所⇒維持	交通指導員の立哨 地域住民やPTAと連携した活動
		【KPI】交通事故死傷者数（歩行者） 34名/年 ⇒ 25名/年	多様な移動手段に応じた安全対策の推進 【KSF】意識啓発の実施 0回/年⇒1回/年	車椅子やシニアカー利用者に対する市民の理解と意識醸成支援
	交通事故死傷者数の減少  【数値目標】 交通事故死傷者数（合計） 291名/年 ⇒ 213名/年	自転車の安全利用の推進	交通安全教室の充実 【KSF】地域団体主催の交通安全教室の実施回数 2回/年 ⇒ 3回/年	学校と連携した交通安全教室の実施 地域団体主催の交通安全教室の支援 スクエアドストレイト技法による交通安全教育の実施
		【KPI】交通事故死傷者数（自転車） 70名/年 ⇒ 51名/年	安全対策の推進 【KSF】ヘルメット購入補助件数 157件（H30）⇒250件	ヘルメット購入費用の補助 児童生徒を通じた周知啓発の実施
		自動車の安全利用の推進	交通安全関連団体と連携 【KSF】街頭啓発の回数 4回 ⇒ 継続	四季の交通安全運動啓発活動
			所轄警察署と連携 【KSF】広報やHPの掲載回数 0回⇒2回	県警スローガン「きらめき3H運動」の推進
【KPI】交通事故死傷者数（自動車等） 187名/年 ⇒ 137名/年	危険運転の予防 【KSF】自動車運転者向け出前講座の実施 0回/年⇒1回/年	ドライバーに対する支援（高齢者など）		

# 人権・男女共同参画

基本方針	基本政策	基本施策	取組	具体的な取組
くらし つながり 生活環 境	1人ひとりが尊重され、誰もが ともに活躍できる	人権教育・啓発の推進  【KPI】人権意識の向上 人権の大切さを認識している市民の割合 94%⇒96%	人権意識の向上 【KSF】広報等の実施回数 1回/年 ⇒ 3回/ 年	広報等による人権意識の啓発 人権啓発イベントの開催 人権啓発講座等の開催 性的少数者に関する理解促進
	(5年後の目指す状態)  人権意識が向上されたまち  【数値目標】 人権が侵害されたことがないと回答する割合 54.7% ⇒60%	男女共同参画の推進  【KPI】男女の地位が平等となっていると 感じている割合 22.3% ⇒ 30.0%	男女共同参画意識の啓発 【KSF】講演会・セミナー等の開催件数 3回/年 ⇒ 継続	男女共同参画講演会・セミナー等の実施 広報、ホームページ等での情報発信 さまざまなハラスメント防止に向けた周知啓発 多様な性・多様な生き方への理解促進
	女性の社会進出の促進 【KSF】市審議会における女性委員の割合 31.8%⇒40%	審議会等への女性の参画促進 女性職員の管理職登用促進と職域の拡大 女性関係団体への支援 女性の再就職・起業の支援	ワーク・ライフ・バランス（仕事と家庭の調和）の 推進 【KSF】市男性職員の育児休業取得の割合 40% ⇒ 100%	ワーク・ライフ・バランスに関する情報提供や啓発の実施 男女がともに担う家事・育児・介護の講座等の実施 男性の育児休業取得促進への推進・啓発

# 市民相談・消費生活

基本方針	基本政策	基本施策	取組	具体的な取組
<p>くらし生活環境</p>	<p>誰もが安心して生活を送ることができる</p>	<p>相談・支援体制の充実</p>	<p>各種相談・支援の実施 【KSF】誰もが相談しやすい体制の構築（オンライン受付など受付の簡素化、オンライン相談の実施、メール等の活用などの検討）</p>	<p>市民相談（人権、L G B T等含む）の実施 法律相談の実施 女性相談の実施 外国籍市民相談の実施 DV相談の実施と相談体制の充実 配偶者暴力相談支援センターの相談体制の充実</p>
	<p><b>(5年後の目指す状態)</b></p> <p>市民の不安が今よりも取り除かれている</p> <p>【数値目標】 「市民相談の充実」（意識調査）の満足度 42.0%⇒52%</p>	<p>【KPI】相談先の認知度 75%（未取得）</p>	<p>相談窓口の周知 【KSF】周知方法の充実</p>	<p>広報誌を通じた情報提供 H Pを通じた情報提供 ソーシャルメディアを通じた情報提供</p>
	<p>消費者被害等の抑制・対応</p>	<p>消費生活相談の実施 【KSF】相談受付件数 540件/年 ⇒ 増加</p>	<p>相談時間や相談体制の維持・充実 相談員の研修参加機会の確保</p>	
	<p>消費者被害等の抑制・対応</p>	<p>世代に応じた啓発の推進 【KSF】世代に応じた講座の新規開設</p>	<p>消費者講座の開催 多様な機会を通じた啓発活動の実施</p>	
	<p>【KPI】消費に関する知識が深まったと思う市民割合 (未取得)</p>	<p>情報提供の推進 【KSF】情報発信回数 12回/年 ⇒ 24回/年</p>	<p>広報誌を通じた情報提供 H Pを通じた情報提供 ソーシャルメディアを通じた情報提供</p>	

# 多文化共生・国際交流

基本方針	基本政策	基本施策	取組	具体的な取組
つながり 生活環 境	外国籍市民と地域住民がつながりを持つことができる	外国籍市民への支援  【KPI】暮らしやすいと感じる外国籍市民の割合 (未取得)	相談体制の充実 【KSF】相談所開設回数 継続実施  多言語での情報発信 【KSF】多言語併記・表記された案内等の数 現 状より充実  コミュニケーションの支援 【KSF】日本語学習の場の提供 0⇒6	外国籍市民相談の実施 NPO等との協力体制の強化  多言語によるHPでの情報発信 事業案内等の多言語併記促進 案内表示等の多言語化 翻訳協力者の育成と活用  日本語学習機会の提供 日本語学習支援者の育成と活用 翻訳機を使った窓口対応
	(5年後の目指す状態)  相互理解が広がっている  【数値目標】 相互理解が広がっていると感じる 市民割合(未取得)	市民の理解促進	多文化理解の促進 【KSF】広報記事掲載数 0/年 ⇒ 2/年	多文化理解を促す広報の充実 国際交流フォーラムの開催
		【KPI】外国籍の人への理解が深まったと感じる市民の割合 (未取得)	コミュニケーション支援 【KSF】やさしい日本語講座等開催数 0回/年⇒2回/年	やさしい日本語によるHPでの情報発信 やさしい日本語講座の開催
		国際交流の推進	交流機会の充実 【KSF】国際交流フォーラムの参加人数 520人 ⇒ 520人以上	多文化理解を促す広報の充実 国際交流フォーラムの開催 外国籍市民が地域に溶け込む機会の提供
		【KPI】国際交流を楽しいと感じた参加者の割合 (未取得)	姉妹都市との交流 【KSF】姉妹都市交流事業の開催数 1回⇒4回	市民参加事業の充実 市民団体との連携

# 子ども・子育て支援

基本方針	基本政策	基本施策	取組	具体的な取組
	安心して子育てができる		療育支援の充実 【KSF】地域療育支援の利用者数（延べ人数） 1,144人⇒1,500人	みずほ学園における療育支援 地域で療育を必要とする児童に対する支援 保育所等に対する巡回支援等 発達に関する相談支援
	<p><b>(5年後の目指す状態)</b></p> <p>子育ての不安の軽減</p> <p>【数値目標】 (妊娠・出産・子育てアンケート) 富士見市で子育てをすることについて「不安はない」の割合</p> <p>50.3%⇒55.0%</p>	<p>子どもの健康と発達・発育支援</p> <p>【KPI】保育サービスなどの充実に対する満足度 47.9%⇒57.9% ・子育て支援環境の充実に対する満足度 61.8%⇒66.8% ※中学生までの子どもがいる方で抽出</p>	障がい児に対する相談支援体制の強化 【KSF】ネットワーク会議の開催 1回/月（継続実施）	障がい児に関するネットワーク会議の開催 家庭児童相談員による相談 専門医による相談、診断・指導
			医療的ケア児に対する支援 【KSF】関係機関による協議の場の設置	医療的ケア児に対する連携体制の強化 レスパイトの推進
			乳幼児健康診査の実施 【KSF】乳幼児健診（4か月、1歳6か月、3歳）の継続実施	健診内容の充実 事業協力者の確保 未受診児の把握と健診後のフォロー強化
			妊婦・産婦健康診査の充実 【KSF】妊婦検診の継続実施	妊婦健康診査費用の助成 産婦健康診査費用の助成 要フォロー者に対する支援
			育児相談事業の充実と普及啓発 【KSF】乳児家庭全戸訪問率 91.6%⇒94.0%	育児相談事業の実施 パパママ教室等の開催 乳児家庭全戸訪問事業 母子保健推進員の育成
			児童虐待の予防 【KSF】要保護児童対策地域協議会の開催 1回/月	児童相談所などなど関係機関との連携強化 養育支援訪問の実施
			保育環境の充実 【KSF】保育所待機児童数 19人⇒0人	保育施設の整備推進 幼稚園の認定こども園への移行推進 保育の質の向上 地域の子育て支援の推進 病児・病後児保育等の実施



子どもを育てる環境づくりの推進	放課後児童クラブの運営 【KSF】放課後児童クラブ待機児童数 0人⇒0人	放課後児童クラブの施設整備 放課後児童クラブの質の向上
	児童館事業の推進 【KSF】児童館利用者数 77,590人⇒81,500人	児童館事業の実施 児童館の質の向上
	子育て支援センター事業の推進 【KSF】子育て支援センター利用者数 15,587人⇒16,400人	子育て支援センターの連携強化 事業内容の充実
【KPI】保育サービスなどの充実に対する満足度 47.9%⇒57.9% ・子育て支援環境の充実に対する満足度 61.8%⇒66.8% ※中学生までの子どもがいる方で抽出	ファミリーサポートセンター事業の推進 【KSF】提供会員・両方会員数 1,062人 ⇒ 1,115人	ファミリーサポートセンターの充実（会員確保） 緊急ファミリーサポートの推進
	幼児教育の支援 【KSF】私立幼稚園特色のある幼児教育推進事業補助金申請幼稚園数 6園⇒9園	特色のある幼児教育の推進 幼稚園預かり保育に対する助成
子育てに対する経済的支援	ひとり親家庭の自立支援 【KSF】児童扶養手当の全額停止者数（本人所得により） 76人⇒111人	手当・医療の支給 資格取得のための訓練給付金等の助成 ひとり親家庭子育て支援助成金の補助 ひとり親家庭自立支援員の配置
	【KPI】保育サービスなどの充実に対する満足度 47.9%⇒57.9% ・子育て支援環境の充実に対する満足度 61.8%⇒66.8% ※中学生までの子どもがいる方で抽出	子育て家庭の経済的支援 【KSF】こども医療費助成の中学生まで無償化の安定的な継続

妊娠・出産・子育てに関するワンストップ相談窓口の確立	<p>妊娠に関する支援 【KSF】不妊治療費等助成 182件⇒295件</p>	<p>妊娠に関する相談 不妊治療費等の助成</p>
	<p>情報提供の推進 【KSF】妊娠届提出者の「スマイルなび」登録率 22%⇒80%</p>	<p>「スマイルなび」の拡充</p>
	<p>相談・支援体制の充実 【KSF】関係機関へ気づき・つながりマニュアルの利用に関する説明の実施 16回⇒22回 ・子ども未来応援センターが出席したケース会議の回数 18回⇒48回</p>	<p>気づき・つながりマニュアルの周知 連携体制の強化 相談事業の拡充</p>
	<p>産前・産後等支援事業の推進 【KSF】産前・産後サポート事業の開催日数 週2日⇒週5日</p>	<p>産前・産後サポート事業の推進 産後ケア事業の充実 子育て支援拠点事業等の推進</p>
	<p>子ども未来応援ネットワークの推進 【KSF】登録サポーターのマッチング数 65回⇒240回</p>	<p>子どもの夢つながり市民運動の推進</p>
<p>【KPI】保育サービスなどの充実に対する満足度 47.9%⇒57.9% ・子育て支援環境の充実に対する満足度 61.8%⇒66.8% ※中学生までの子どもがいる方で抽出</p>		

# 子ども・若者支援

基本方針	基本政策	基本施策	取組	具体的な取組
つながり 成長	夢に向かってにチャレンジできる	社会生活を円滑に営むための支援	社会参加の機会を提供する 【KSF】体験活動の機会を提供するサポーター数の増加 2件 ⇒ 12件	生活・就労体験の提供 受け入れ先の開拓
	(5年後の目指す状態) 子ども・若者が問題に直面した時に、サポートが受けられる	相談・支援体制の充実	相談体制の充実 【KSF】若者のための学び直し相談実施数 1回/月	若者のための学び直し相談の実施 相談しやすい環境づくり
	【数値目標】 サポート（関り）を持った子ども・若者数 延べ8人/年	【KPI】子ども・若者の居場所活動回数 延べ624回/年	子ども・若者の居場所・仲間づくり 【KSF】子どもの居場所数 16か所⇒22か所	若者支援団体による場の提供 子どもの居場所づくりの支援（子ども食堂・学習支援教室） 児童館の夜間開館の実施
		【KPI】子ども・若者の居場所活動回数 延べ624回/年	学習の支援 【KSF】アスポート事業（中高生の学習支援）利用人数 31人⇒40人	アスポート事業の実施 ジュニアアスポート事業の実施 家庭学習応援事業の実施 子どもの居場所づくりの支援（学習支援教室）（再掲）
		【KPI】若者のための学び直し相談件数 4件 ⇒ 12件	支援体制の充実 【KSF】若者支援を希望するサポーターの登録件数 42件 ⇒ 92件	子どもの夢つなぐ市民運動のサポーターの支援 子ども未来応援ネットワークの推進 子ども・若者の居場所応援ネットの推進 子ども未来応援基金のPR活動

# 地域福祉

基本方針	基本政策	基本施策	取組	具体的な取組
暮らし つながり 生活環 境	住み慣れた地域での安心した心地よい暮らしの実現	自立に向けた支援	相談・支援体制の充実 【KSF】生活サポートセンター☆ふじみでのプラン作成件数 56件⇒ 80件	弁護士会との連携（委託先独自業務）の継続 福祉資金貸付窓口一本化（委託先独自業務）の継続 家計改善支援事業（家計管理を支援する事業）実施の検討 就労準備支援事業（就労訓練を行う事業）実施の検討
		【KPI】生活保護制度における保護率 1.55%⇒1.33%	分野を超えた相談窓口の連携の組織化 【KSF】（仮称）総合支援会議の開催 0回⇒ 12回/年	庁内所管部署間による相談者支援のための会議を構築 庁内を超えた相談者支援のための会議を構築
	<b>(5年後の目指す状態)</b>	共に支え合う仕組みづくり	短期的に利用できる制度の充実 【KSF】住居確保給付金の利用月数 7月⇒ 22月	住居確保給付金制度の周知 NPOや社会福祉協議会等によるフードバンク、福祉資金貸付等の支援との連携
			ボランティアの活動の充実 【KSF】ボランティア登録団体数及び個人数 107団体 77人⇒115団体 100人	社会福祉協議会への支援の継続 社会福祉協議会との連携による各種ボランティアの充実
		避難行動要支援者制度の拡充 【KSF】年間外部提供同意者数 50人⇒ 75人	避難行動要支援者名簿整備の継続 避難行動要支援者名簿がより活用（災害時や避難訓練等）されるよう支援	
		【KPI】地域活動への参加状況 40.1%（参加したことがない）⇒ 38.5%	市民の福祉活動の充実 【KSF】社協会員数の増 13,292人⇒ 13,800人	市民福祉活動センターの活用 市社会福祉協議会を通じた地区社協の活性化
		公的サービスの充実	庁内関係部署を中心とした情報共有、各担当者のスキルの維持向上 【KSF】健康福祉部内での勉強会の回数 8回/年⇒ 12回/年	庁内関係部署による勉強会の継続 庁内関係部署による情報共有のための会議を実施 庁内関係部署による勉強会を関係部署や庁内を超える会にすることができるか検討
	【KPI】担当職員一人当たりの月平均訪問件数 17.6件⇒20.0件	生活保護制度の適正な運営 【KSF】職員一人当たりの担当世帯数 80.125世帯⇒ 80世帯以内（現在値からの低減を図る）	専門職の適正配置、適正数の確保 等 研修による担当職員のスキルアップ 係会議の継続による担当職員間の情報共有	
地域住民が助け合って生活するまち  【数値目標】 市の福祉施策(福祉のまちづくり)に関する満足度 56.1%⇒70.0%				

# 障がい福祉

基本方針	基本政策	基本施策	取組	具体的な取組
暮らし	自立した生活が送れる	障がい福祉サービスの充実	日常生活支援の充実 【KSF】アンケート調査「何が利用できるのか分からない」値の改善 33.7%⇒20%以下	障害者総合支援法に基づくサービスの充実 地域生活支援事業の充実 レスパイトケア事業の充実
	<b>(5年後の目指す状態)</b>	【KPI】アンケート調査「自宅・グループホームで暮らしたい」人の割合 70.9%⇒80.0%	地域で自立した生活の促進 【KSF】社会的入院患者の退院 +年1人	おうちに帰ろうプロジェクトの推進 精神障がい者にも対応した包括システム推進
	地域でその人らしい生活が送れる	【KPI】アンケート調査「自宅・グループホームで暮らしたい」人の割合 70.9%⇒80.0%	居住の場の確保 【KSF】今すぐ利用を希望している障がい者のグループホーム待機者 5人 ⇒ 0人	グループホームの充実 入居支援の充実
	【数値目標】 アンケート調査「暮らしやすい（どちらかというも含め）」人の割合 42.1%⇒60.0%	相談体制の充実	地域生活拠点等の整備の推進 【KSF】緊急時未対応者・待機者ゼロ	関係機関との連携と情報共有の充実 緊急時連絡体制の充実 短期入所先の確保
		相談体制の充実	総合的な相談支援体制の強化 【KSF】相談支援部会を年3回以上実施する	障がい者基幹相談支援センターの充実 相談支援部会の充実 様々な関係機関との連携と情報共有
		【KPI】アンケート調査「どこでどんな相談ができるかわからない」人の減少 23.5%⇒10%	自己決定のための配慮した情報提供の推進 【KSF】アンケート調査「何が利用できるのか分からない」値の改善 33.7%⇒20%以下（再掲）	障がい者に特性に配慮した情報提供の充実 意思疎通支援事業の充実 補装具、日常生活用具の利用促進
		【KPI】アンケート調査「どこでどんな相談ができるかわからない」人の減少 23.5%⇒10%	障がい者の権利擁護の推進（差別解消、虐待、権利擁護・成年後見制度） 【KSF】障害者施策推進協議会権利擁護部会での協議 年1回以上	障がい者虐待の防止への取り組みの推進 障がい者の権利擁護の協議の場の充実 成年後見制度利用の促進

雇用・就労支援の充実	障がい者の就労機会の充実 【KSF】就労支援センターの相談件数 538人⇒ 1,087人	障がい者就労支援センター事業の充実 就労移行・継続・定着等支援事業の利用促進 特別支援学校卒業生への進路支援 障がい者就職説明会の開催 就労に関する情報提供の充実
【KPI】就労支援センター登録者の一般就労と福祉的就労者数の増加 182人⇒364人	障がい者の雇用拡大の推進 【KSF】就労支援センター登録者の就労者数の増加 133人 ⇒ 266人	民間企業への啓発 広域的な就労支援ネットワークの充実 障害者優先調達の推進

基本方針	基本政策
つながり 生活環境	ともに生き、ともに支え合える
	<b>(5年後の目指す状態)</b> みんながちょっとした配慮ができるようになる。  【数値目標】 障害者手帳保持者等のうち 配慮がなく困った経験がある 方の割合 33% ⇒ 27%

基本施策	取組	具体的な取組
意識啓発の充実	あいサポート運動の推進 【KSF】あいサポーター数 6,929人⇒12,597人	あいサポーター研修の実施 企業認定におけるあいサポーター研修 (差別解消法の普及啓発)
【KPI】アンケート調査「障害者差別解消法について知っている」 30.9%⇒50%	手話の理解及び普及 【KSF】手話体験講座の受講者数 135名⇒335名	手話に関する講演会の実施 手話体験講座 手話を学ぶための福祉教育の実施
交流の促進	障がい者との交流 【KSF】あいサポートイベント 1回以上/年	あいサポート運動の普及・啓発 富士見市手話言語条例の推進
【KPI】障がい者と交流（啓発イベントやボランティアに参加）したことがある人の割合（未取得）	当事者参画の推進 【KSF】当事者委員が参画する会議・事業の開催回数 6回⇒7回	富士見市障害者施策推進協議会の充実 富士見市障害者施策推進協議会における部会活動の充実 障がい者の文化芸術事業の推進
暮らしやすい環境整備	施設などのバリアフリーの推進 【KSF】多目的トイレ等の普及の推進	多目的トイレなどの整備
	情報提供環境の充実 【KSF】タブレットの普及 19台 ⇒ 25台	電話リレーサービス遠隔手話通訳サービスの充実 音訳サービスの充実 点訳サービスの充実
【KPI】アンケート調査「避難所の設備や必要な支援が受けられるか不安」の減少 29.4%⇒15.0%	防災・防犯体制の強化 【KSF】アンケート調査「災害時に助けてくれる人がいない」 37.1%⇒18%	ヘルプカード・災害時援助用バンダナの配布 災害時障害別対応マニュアルの作成 災害時要援護者登録

# 高齢者福祉

基本方針	基本政策	基本施策	取組	具体的な取組
暮らし	人生100年時代を見据えた健康長寿を目指す	元気なうちからの取組の推進  【KPI】フレイルを知っている者の割合 50%（未取得）	周知・啓発の充実 【KSF】健康講座の開催数、参加者数 51回1,537人⇒ 61回1,700人	フレイル予防の啓発 健康講座・相談の充実 関係機関への周知
	<b>(5年後の目指す状態)</b> 健康長寿の延伸 【数値目標】 健康寿命 H29 男性17.17年 女性19.74年 ⇒R5 男性17.77年 女性20.34年	介護予防の推進	チェック体制の強化 【KSF】フレイルチェック事業参加者数の増加 0人⇒460人	フレイル健診チェックリストを活用した早期発見 フレイルチェック事業の実施 後期高齢者医療制度との一体的実施の推進 基本チェックリストの実施
		【KPI】地域での活動に参加していない方の割合の減少 平均47.5%⇒平均44%	主体的な活動の促進 【KSF】自主的活動の参加者の増加 2,015人 ⇒ 2,156人	自主的活動の担い手の育成 自主的活動団体への支援 新しい活動場所の創設 放課後児童クラブ等を活用した活動場所の確保 介護支援ボランティアポイント事業の推進

基本方針	基本政策	基本施策	取組	具体的な取組
つながり 成長	社会参加できる	対象者へのアプローチ（人）	社会参加するための支援 【KSF】高齢者学級の参加者数 502人 ⇒ 530人	高齢者学級の充実・参加促進 老人クラブ活動支援 各種サークル活動への参加促進 広報・HPにおける社会資源の周知、啓発 市内循環バス高齢者特別乗車証の発行 老人福祉センターの利用促進
		【KPI】社会（地域）活動の認知率 +20%（未取得）	定年退職後の地域デビュー支援 【KSF】アクティブシニア施策の参加者数（調整中）	アクティブシニアの活躍推進 地域自主活動グループの育成 町会、自治会、民生委員活動の周知
		【KPI】社会（地域）活動の認知率 +20%（未取得）	未来の対象者（40～64歳）へのアプローチ 【KSF】若年層の生涯学習施策の認知度（未取得）	生涯学習施策の普及・啓発 各種団体への出前講座の実施 広報・HPにおける社会資源の周知、啓発（再掲）
		多様な活躍の機会の創出（場所）	通いの場の充実 【KSF】新たな通いの場の創設による増（調整中）	新たな通いの場の創設 既存の介護予防施設の利用促進 高齢者サロン継続に向けた側面的支援 高齢者学級の充実・参加促進（再掲）
	社会（地域）活動への参加率上昇	【KPI】社会（地域）活動の認知率 +20%（未取得）	担い手不足解消に向けた取組み 【KSF】介護のお仕事入門研修修了者の就労 0人⇒10人	シルバー人材センターの周知 介護のお仕事入門研修の実施 総合事業における新たなサービス類型の検討 在宅福祉サービスセンターの周知
	【数値目標】 社会（地域）活動への参加率 65%⇒75% （介護予防・日常生活圏域ニーズ調査）	地域へ活力の還元の仕組みづくり（活用）	知識・技能の還元の仕組みづくり 【KSF】市民人材バンク登録者数の増（調整中）	市民人材バンク登録制度の活性化 住民助け合いサービスの創設支援 世代間交流できる居場所づくり支援
		【KPI】地域で活躍している高齢者の割合（調整中） （介護予防・日常生活圏域ニーズ調査）	マンパワーの還元の仕組みづくり 【KSF】シルバー人材センターの会員登録数 853人⇒1,000人	ボランティア活動の活性化支援 ふじみ在宅福祉サービスセンターの充実 シルバー人材センターの周知（再掲） 介護支援ボランティアポイント事業の推進（再掲）



基本方針	基本政策	基本施策	取組	具体的な取組
生活環境	住み慣れた地域での継続した生活の実現	在宅高齢者の支援	相談体制の充実 【KSF】地域包括支援センターの認知率 34%⇒50%	地域包括支援センター機能の充実 関係機関の連携の強化 介護者への支援
	【KPI】在宅高齢者支援施策の満足度 (未取得)	認知症施策の推進 【KSF】オレンジカフェの参加者数 96人⇒150人	オレンジカフェ（認知症カフェ）の実施 認知症地域支援推進員を中心とした支援体制の構築 認知症ケアパス（認知症ガイドブック）による周知・啓発 認知症初期集中支援チームによる相談支援 成年後見制度の利用促進	
	【KPI】在宅高齢者支援施策の満足度 (未取得)	在宅生活を支える施策の充実 【KSF】医療介護連携他職種研修会への専門職 参加者数 323人⇒400人	在宅高齢者支援事業の実施 在宅医療・介護連携の推進	
	【KPI】在宅高齢者支援施策の満足度 (未取得)	見守り支援の充実 【KSF】認知症サポーター数 4,688人⇒ 7,000人	高齢者見守りネットワークの普及・啓発 認知症サポーター養成講座の開催	
	【KPI】在宅高齢者支援施策の満足度 (未取得)	お互いの支え合いの推進(共助)	生活支援コーディネーター活動の拡大 生活支援体制整備推進会議（第1層・第2層）の開催 地域ケア会議の開催 新たな通いの場の創設（再掲） 住民助け合いサービスの創設支援（再掲）	
	【KPI】支え合い活動に取り組んでいる人の割合 (未取得)	支えられ上手になるための支援 【KSF】高齢者サロン参加者数の増（調整中）	顔の見える関係づくりの構築 高齢者サロンの周知・啓発 広報・HPにおける社会資源の周知、啓発（再掲）	
	【KPI】支え合い活動に取り組んでいる人の割合 (未取得)	介護サービスの拡充 【KSF】介護事業所・施設の増加 54カ所 ⇒57カ所	介護予防・日常生活支援総合事業の推進 在宅介護サービスの拡充 （地域密着型）老人福祉施設の整備検討	
	【KPI】在宅サービスの利用割合10%増に伴う 特養入所待機者数の減 ・在宅サービスの利用割合10%利用割合 (未取得) ・待機者数157人⇒120人	介護保険制度の推進（公助）	介護職員初任者研修の継続実施 介護の魅力PR事業の実施 介護現場におけるハラスメント対策のための取組 介護ロボットやICTの活用などの支援	
	【KPI】在宅サービスの利用割合10%増に伴う 特養入所待機者数の減 ・在宅サービスの利用割合10%利用割合 (未取得) ・待機者数157人⇒120人	介護給付費の適正化 【KSF】取組実施件数・項目の増（未取得）	実地指導の計画的な実施 要介護認定の適正化・標準化 住宅改修・福祉用具の事後点検 ケアプランの点検 縦覧点検・医療情報との突合	
	<b>(5年後の目指す状態)</b>  住み慣れたこの地域で今後 も暮らし続けられる  【数値目標】 住み慣れたこの地域で 今後も暮らし続けられると 回答した人の割合 (未取得)			

# 健康づくり

基本方針	基本政策	基本施策	取組	具体的な取組	
暮らし生活環境	人生100年時代を見据えた健康づくり	健康的な食生活の推進	「食生活からの健康づくり」の推進 【KSF】食育教室等実施 継続実施	食育教室等の実施 特定保健指導（栄養）の実施 食生活に関する情報発信	
		【KPI】バランスのよい食事をしている人の割合 57.0%⇒70.0%	地域における食育活動の推進 【KSF】地域における食育活動の支援回数 14回⇒24回	地域における食育活動支援 食生活改善推進員の養成・活動支援	
		運動習慣の推進	運動機会の提供 【KSF】健康マイレージの参加者数 1,663人⇒3,900人	ヘルシーウォークの実施 健康マイレージの実施 各種イベント等の情報発信	
		【KPI】運動習慣がある人の割合 41.2%⇒51%	健康づくりのための運動の推進 【KSF】運動教室の実施 継続実施	健康づくりのための運動教室の実施 特定保健指導（運動）の実施 健康づくりのための情報発信	
		健康の自己管理の推進	健康の自己管理の普及啓発 【KSF】健康教育・健康相談の実施 継続実施	各種健診の実施 健康教育・健康相談の実施	
		【KPI】かかりつけ医を持っている人の割合 60.4%⇒70%	かかりつけ医に関する普及啓発 【KSF】普及啓発回数 2回⇒10回	医師会と連携した普及啓発 健康教育・健康相談の実施	
	(5年後の目指す状態) 健康だと感じる人の割合の増加		がん対策	KSF：胃がん検診 2.7%→13.3% 肺がん検診 32.4%→50.0% 大腸がん検診 28.0%→50.0% 乳がん検診 11.2%→20.0% 子宮がん検診16.3%→17.7%	がん検診の実施 予防に関する普及・啓発 禁煙支援
			心の健康の向上	心の健康意識の向上 【KSF】健康相談（心の相談含む）の実施 継続実施	心の健康についての普及・啓発 健康相談（心の相談含む）の実施 早期発見・早期治療への取り組み
			【KPI】相談できる人や場所がない人の割合 26.8%⇒17.0%	自殺予防対策 【KSF】誰にも相談しない・できない人の割合 19.9%⇒10.0%	自殺の問題に関する理解の促進と取組の推進 自殺の背景となる要因の軽減のための取り組みの推進 自殺の原因、背景に対応した支援体制等の整備

<p>【数値目標】 健康だと感じる人の割合 80%⇒85%</p>
---

<p>歯と口の健康づくり</p>	<p>年齢に応じた口腔ケアの普及啓発 【KSF】歯科・口腔教室の実施回数 43回⇒48回</p>	<p>歯科・口腔教室の実施 オーラルフレイルの普及啓発 歯科・口腔に関する情報提供 8020運動などの推進</p>
	<p>【KPI】何でも噛んで食べることができる人の割合 75.9%⇒82%</p> <p>歯科健診受診を促進する環境づくり 【KSF】成人歯科健診受診者数 256人⇒800人</p>	<p>歯科健診受診の普及啓発 歯科健診の実施</p>
<p>健康を支える環境整備</p>	<p>医師会等職能団体との連携強化 【KSF】医療情報の提供機会の充実</p>	<p>医療情報の提供手法・媒体・回数の改善・実施</p>
	<p>町会等地域団体との連携強化 【KSF】関係団体との会議の開催 30回/年⇒36回/年</p>	<p>地域健康相談の実施 地域関係団体とのネットワーク強化</p>
	<p>感染症対策の充実 【KSF】予防接種接種率の向上 MRワクチン1期89.3%、2期90.2% ⇒95%以上</p>	<p>予防接種事業の実施 一般感染症予防の普及・啓発 備蓄品の管理</p>
	<p>【KPI】医療施設の情報が少ないと感じる人の割合 35.5%⇒32.4%</p> <p>国民健康保険・後期高齢者医療保険制度の安定的な運営 【KSF】ジェネリック医薬品の使用割合 77%⇒80%</p>	<p>医療費の適正化に向けたレセプトチェック ジェネリック医薬品に切り替えた場合の差額通知発送</p>

# スポーツ

基本方針	基本政策	基本施策	取組	具体的な取組
暮らし	スポーツで元気になる	幼児からスポーツに親しめる環境整備	親子で参加できるスポーツ機会の充実 【KSF】子ども～未成年向け教室数（市民総合体育館指定管理者自主事業） 5事業 ⇒ 7事業	市内スポーツ施設での親子向けイベントの充実 推進のための啓発活動
			子ども達がスポーツできる場所の充実 【KSF】県スポーツ少年団登録団体数 15団体 ⇒ 18団体	屋外スポーツ施設の整備機能拡充、安心安全対応の検討 学校体育施設開放事業充実の検討 近隣自治体、民間施設等の有効活用 空き地等の資源の活用・転用 都市公園等でのスポーツ活動の推進
		【KPI】子どもがスポーツをすることが好きという割合 63.4% ⇒ 70%	東京2020大会オリンピック・パラリンピックレガシーによる学校教育との連携 【KSF】学校における授業・行事の実施校 3校 ⇒ 6校	学校授業等での競技体験セルビア紹介等
		働く世代へのスポーツの機会の提供	働く世代に対する啓発活動 【KSF】市民健康増進スポーツ大会の参加者数 5,841人 ⇒ 6,000人	広報「富士見」での啓発や健康セミナー等の開催 スポーツ健康イベントの開催
		【KPI】20歳～59歳の週1回以上スポーツをする人の割合 22.4%⇒30%	働く世代がスポーツしやすい環境づくり 【KSF】運動公園の利用人数 54,010人 ⇒ 58,000人	屋外スポーツ施設の整備機能拡充、安心安全対応の検討 新たな夜間スポーツ施設の整備の検討 個人利用、多目的施設の充実
		高齢者に合わせたスポーツ機会の提供	健康体力づくりの活動機会の拡充 【KSF】ラジオ体操教室の実施回数 4回 ⇒ 6回	医療機関・大学等の連携によるプログラムの開発 スポーツ健康イベントの開催 近隣自治体、民間施設等の有効活用
	(5年後の目指す状態)	スポーツを習慣化する	高齢者向けスポーツの充実 【KSF】地域でのラジオ体操実施団体数 8団体 ⇒ 9団体	地域におけるスポーツ活動施設の機能拡充・整備検討 早朝から利用できるスポーツ活動施設の機能拡充や整備の検討 健康づくり交流施設の整備の検討
	【KPI】60歳以上の週1回以上のスポーツをする人の割合 55.6%⇒60%		地域に合わせたスポーツ機会の創出 【KSF】スポーツ推進委員地区事業の参加人数 264人 ⇒ 350人	スポーツ推進委員との協働による地域事業の実施 地域スポーツ事業の推進 地区体育祭の支援

**【数値目標】**

週1回以上のスポーツをする  
人の割合  
41.4%⇒50%

障がい者がスポーツを楽しめる環境づくり

【KPI】障がい者スポーツを体験したり見たことがある人の割合（未取得）

障がい者がスポーツを体験できる機会の充実  
【KSF】主に障害者に向けた各種競技体験教室・イベントの開催数 2回⇒4回

障がい者スポーツ環境の充実  
【KSF】障がい者スポーツの所有備品種目数  
3種目⇒4種目

パラリンピック共生社会ホストタウン及びレガシーによる障がいスポーツの推進  
【KSF】障がい者スポーツ競技体験教室や交流の開催数（国際理解・文化等含む） 3回⇒5回

障がい者向けスポーツイベント・体験教室の開催  
障がい者スポーツ活動の支援 等

スポーツ施設のバリアフリー化の充実と利用促進  
障がい者スポーツ備品の充実

競技体験教室や交流の開催（国際理解・文化等含む）  
学校教育向けをはじめとしたプログラムの開発と実施

基本方針	基本政策	基本施策	取組	具体的な取組
つながり	<p>スポーツにより交流が活性化 する</p>	<p>「する」(機会の充実)</p> <p>【KPI】地域のスポーツ大会、教室の 参加率(応援・見学を含む) 36.0% ⇒ 40%</p>	<p>一流選手等から学ぶ機会の創出 【KSF】イベント、教室等の実施事業数 7事業 ⇒ 8事業</p>	<p>体験教室等の実施 子どもスポーツ大学の実施 実施周知の充実 オリパラ・ホストタウンに関連する競技体験機会やイベントの開催(国際理解文化等含む)</p>
			<p>好きな時に好きなスポーツに取り組める環境整備 【KSF】市民総合体育館スポーツジム利用 人数 46,528人 ⇒ 50,000人</p>	<p>地域におけるスポーツ活動施設の設置、機能拡充の検討 空き地等の資源の活用転用 学校体育施設の活用 多様なスポーツニーズへの対応</p>
			<p>同じスポーツをする仲間を探せる仕組み作り 【KSF】スポーツ指導者養成講座の参加者数 86人 ⇒ 100人</p>	<p>市内活動団体、指導者等のデータベースの構築 スポーツ推進委員との協働によるイベント開催 地域スポーツ事業の推進</p>
		<p>「観る」(環境整備)</p> <p>【KPI】スポーツを会場等で観戦したこ とがある比率 20.9% ⇒ 25%</p>	<p>大会等誘致によるスポーツ活動・地域交流・シ ティセールスの充実 【KSF】全国大会規模等の実施回数 4回 ⇒ 6回</p>	<p>大会を実施してもらうための誘致活動を行う 大会を誘致するための新たな施設設置の検討 本市にゆかりのあるスポーツ選手や団体と連携したPR活動 オリパラホストタウンレガシーによる交流機会の推進</p>
			<p>スポーツを観戦できる環境の整備 【KSF】市民総合体育館での応援イベント等の 開催回数 1回 ⇒ 2回</p>	<p>公式試合を観戦できる施設の整備 広報等による宣伝活動の充実 オリパラ、ラグビーワールドカップレガシーによる応援イベントの開催</p>
	<p><b>(5年後の目指す状態)</b></p> <p>スポーツを通じたつながりの形 成</p> <p>【数値目標】 スポーツ行事への参加率 29.5%⇒40%</p>	<p>「支える」(活動支援)</p> <p>【KPI】スポーツに関するボランティア活 動参加率 8%⇒10%</p>	<p>スポーツ団体等への活動支援 【KSF】富士見TOPサポーターの大会等への支 援活動者数 目標延べ250人</p>	<p>スポーツ団体との連携による初心者教室の開催 大会等の会場優先確保 富士見TOPサポーターのオリパラ後の活動充実と支援(国際理解・文 化等を含む) 富士見スポーツボランティア創設等の活動及び企画・運営の場づくり</p>
		<p>競技スポーツ向上者への支援 【KSF】激励金の交付件数 18回 ⇒ 20回</p>	<p>激励金等の交付 広報等でのPR等 オリンピック・パラリンピアン等トップアスリート等に接する機会の提供</p>	
		<p>「レスリングのまち富士見市」の推進 【KSF】レスリングに興味のある市民の割合 (未取得)</p>	<p>体験教室等の実施(再掲) 各種競技大会の誘致 富士見レスリング週間の周知 日登美杯への支援</p>	

# 学校教育

基本方針	基本政策	基本施策	取組	具体的な取組
	<p>児童生徒一人ひとりが輝く</p>	<p>問題解決的な学習（※）を通じた確かな学力の育成</p> <p>※自ら問題や疑問を持って，自ら解決していく学習</p> <p>【KPI】思考力・判断力・表現力の向上 （県学力・学習状況調査：県平均との比較） 小：-1p 中：+2p ⇒ 小+2p 中：+5p</p>	<p>主体的・対話的で深い学び 【KSF】STEM教育を受ける児童生徒の学校数 1校 ⇒ 5校</p> <p>特別支援教育の充実 【KSF】特別支援学校との支援籍交流 小 36.2%・中 11.8% ⇒ 小 50.0% ・中 30.0%</p> <p>外国語教育、国際理解教育の充実 【KSF】全国学力・学習状況調査 「外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知ったりしてみたいと思いますか」の質問事項に対する回答「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の割合の合計 小6 60.1% 中3 60.9% ⇒ 80%以上</p>	<p>学力向上プロジェクトチームを活用した授業改善研究 STEM教育の推進、STEAM教育の検討 GIGAスクール構想の実現</p> <p>特別支援学級の教職員の指導力向上をめざした研修会を実施 個性を伸ばす授業の工夫改善</p> <p>「イングリッシュ・サマー・キャンプ」の充実 実用英語技能検定試験チャレンジ事業の推進 AETの活用による授業の充実・適正配置</p>
暮らし		<p>人との交流や感動体験を通じた豊かな心の育成</p>	<p>「いのち」を大切にする教育の推進 【KSF】自分にはよいところがあると思う（思う、どちらかといえば思う）小6 71.6%・中3 78.4% ⇒ 小6 75% 中3 80%</p> <p>人権教育・道徳教育の充実 【KSF】埼玉県学力学習状況調査（質問紙調査） 「規律ある態度」の（できる、だいたいできる）の項目数 85/96項目（R1） ⇒ 96/96項目（R7）</p>	<p>「いのちの授業」の実施 「いのち」の大切さや尊さを学ぶ学習の実施 「いじめのない学校づくり子ども会議」「いじめのない学校づくり委員会」の開催 いじめの未然防止・早期発見・早期対応 体験活動の推進 いじめ問題対策連絡協議会等の運営 いじめ防止サポーター制度の普及・活用</p> <p>自分や他者の人権を守る意識・意欲・態度の育成 人権教育の学習内容・指導方法の工夫・改善 「特別の教科 道徳」の授業を「要」とした、道徳教育の実践 道徳授業の充実を図る研修会の実施 規律ある態度の育成</p>

<p>(5年後の目指す状態)</p> <p>より多くの児童生徒が夢や希望を持っている状態</p> <p>【数値目標】 全国学力・学習状況調査「将来の夢や目標を持っていますか」の質問事項に対する回答「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の割合の合計 小6 72.8%・中3 69.3% ⇒小6 78.0%・中3 75.0%</p>	<p>【KPI】いじめの解消率 小 70.0%・中 87.3%⇒100%</p>	<p>教育相談体制・生徒指導の充実 【KSF】指導の結果、登校または好ましい変化が見られた人数 小2件、中31件 (H30) ⇒小15件、中50件 (R7)</p>	<p>教育相談室の相談体制の充実 スクールソーシャルワーカーによる支援充実 教育支援シートの活用 巡回相談・生徒指導訪問の実施 研修会の実施</p>
		<p>青少年関係団体の育成支援 【KSF】青少年相談員の人数 14人⇒19人</p>	<p>青少年関係団体への活動支援補助</p>
	<p>自らの健康・安全を守る資質・能力と健やかな体の育成</p>	<p>学校体育の充実 【KSF】体育の授業は楽しいと回答したの児童生徒の割合：県平均との比較 小 (男-4.1P 小女-8.5P) 中 (男-4.6P 中女-2.4P)</p>	<p>生涯にわたり運動に親しむ態度の育成 体育授業の充実</p>
		<p>児童生徒の体力向上 【KSF】実技研修会及び授業研究会の実施 3回/年 ⇒5回/年</p>	<p>実技研修会や授業研究会の充実 広報誌を生かした家庭との連携 体育的活動の充実</p>
		<p>【KPI】新体力テスト (A+B+C)の児童生徒の割合：県平均との比較 小-5.1P 中+0.3P ⇒小 ±0P 中 +3P</p>	<p>学校保健の充実 KSF:学校医等との連携項目の数の平均 (学校健康教育実践状況調査) 小49.8%→60% 中29.6%→50%</p>
	<p>教育効果を高める学校教育の推進</p>	<p>教職員の資質向上 【KSF】小中学校による若手教員の指導の充実 継続実施</p>	<p>若手教員育成指導員の配置 学校指導訪問の計画的な実施 学校研究、共同・個人研究の奨励 教職員人事評価制度の活用 在校時間調査による教職員の健康管理</p>
		<p>小中一貫教育の推進 【KSF】小中一貫支援員の配置 2名⇒6名</p>	<p>小中一貫支援員の配置 中学校区間の連携の強化 大学との連携</p>
		<p>学校給食の充実 【KSF】・地場産食材使用率 (重量割合) 41.1%⇒42% ・国産食材使用率 100% (現状維持)</p>	<p>地場産品の利用拡大 安全でおいしい給食の提供の実施 学校給食費の公会計化の検討</p>



【KPI】「学校に行くのが楽しい」と答える児童・生徒の割合 小80.3%、中80.3%⇒小90.0%、中90.0%	学校施設・設備の整備 【KSF】豊かな教育環境の充実における満足度向上 46.5%⇒50.0%	非構造部材の耐震対策 体育館へのエアコン設置 トイレの改修工事
	教育の機会均等 【KSF】学校において教育機会の均等についての満足度調査の実施（未取得）	外国人児童生徒への支援 利子補給制度の見直し

# 生涯学習

基本方針	基本政策
	<p>自由な学びにより生きがいができる</p>

基本施策	取組	具体的な取組
<p>ライフステージに応じた学びの推進</p> <p>【KPI】生涯学習の必要性を感じている市民の割合（生涯学習に関する市民アンケート） 76%⇒80%</p>	<p>子育てを支える学びの充実（0歳～就学前） 【KSF】公民館（4館）の子育てサロンの延参加人数 1,805人 ⇒ 2,000人</p>	<p>子育て支援学習の充実 子育て支援センター、児童館等のあそび場の充実 公民館等の子育てサロンの充実</p>
	<p>子ども・若者の学びの充実 【KSF】子ども大学・子どもスポーツ大学・子ども文化芸術大学 ☆ふじみの参加者の満足度 82% ⇒90%</p>	<p>家庭学習応援事業の拡充（再掲） 地域子ども教室の支援 子ども大学・子どもスポーツ大学・子ども文化芸術大学 ☆ふじみの充実 障がいのある若者の学習支援</p>
	<p>働く世代を中心とした学びの充実 【KSF】市民大学の延べ受講者数 2,745人 ⇒ 3,000人</p>	<p>防災防犯、平和、環境、人権、男女共同参画、国際理解に関する学習の充実 行政課題に関する学習機会の推進 市民大学の充実に向けた支援</p>
	<p>高齢者を中心とした学びの充実 【KSF】公民館（4館）の高齢者学級受講者の合計 502人 ⇒ 530人</p>	<p>健康学習の充実 介護予防・フレイルに関する活動支援 スポーツ・レクリエーションの充実 多様化する高齢者学習の支援 地域福祉やボランティア学習の充実 コミュニティ大学、高齢者学級の支援 等</p>

暮らし つながり	(5年後の目指す状態)
	多様な学習活動に取り組むことが出来ている  【数値目標】 多様な学習活動の支援の満足度 45.6% ⇒ 50%

地域学習の充実	地域資源や郷土の特徴を生かした学習機会の充実 【KSF】資料館（水子貝塚資料館・難波田城資料館）の講座・体験事業参加者数の合計 5,849人 ⇒ 6,200人	歴史・文化財郷土芸能を生かした学習機会の充実 芸術文化を生かした学習機会充実 産業を生かした学習機会充実 高校や大学などとの連携の推進 多様な人材を生かした学習機会の提供 地域の自然等を生かした学級講座等の開催 世代間交流になる学習機会の充実 地域団体との連携による学習機会支援
【KPI】生涯学習に係るボランティアについて、学んだことがある市民の割合 5.0% ⇒ 10%	学習成果の地域での活用機会の充実 【KSF】市民人材バンクの依頼件数 522件 ⇒ 550件	市民人材バンク制度の充実 市民学芸員活動の充実 各種ボランティアに関する学習の推進 NPOや市民団体との連携の充実 学習成果の発表・交流機会の充実
情報拠点・情報発信の充実	図書館活動の推進・図書館サービスの充実 【KSF】図書館サービスの充実の満足度 59.2% ⇒ 65%	地域の情報拠点と資料の収集と情報提供の充実 子ども読書活動の推進 サービス網の拡充と快適な読書空間の提供
【KPI】生涯学習に関する情報入手の満足度 36% ⇒ 40%	学習情報の整備 【KSF】市ホームページ・公の施設利用団体・サークル掲載団体件数 450団体 ⇒ 470団体	情報の収集発信・ネットワーク化の推進 SNSによる学習コンテンツ発信の検討
生涯学習環境の整備  【KPI】市内公共施設を月数回以上利用する頻度 29.6% ⇒ 35%	施設の整備・機能の充実 【KSF】活動できる環境（施設）の満足度 33% ⇒ 40%	個人の学びを支援する機能整備の検討（Wi-Fi整備など） 誰もが使いやすく、気軽に利用できる施設整備の検討（バリアフリーや多目的な利用） 既存施設の有効活用等による施設整備の検討（公共施設マネジメントと連動した有効活用）

# 地域コミュニティ

基本方針	基本政策	基本施策	取組	具体的な取組
つながり	市民が主役のまちづくり	町会運営への支援	コミュニティカ向上のための支援 【KSF】加入促進策の実施 1⇒3	加入促進の支援 正副町会長の負担軽減 町会運営マニュアルの作成 町会PRの支援
		【KPI】コミュニティ活動の推進の満足度 49.9%⇒53.0%	情報交換や集まれる場所の提供 【KSF】集会所の利用率の向上 58.1%⇒65.0%	市立集会所の修繕 掲示板の維持管理 地域立集会所への補助
		まちづくり協議会への支援	設立の支援 【KSF】 地域まちづくり協議会の設立数 6地域⇒11地域	未設置地域への設立の働きかけ 地域データの整理
	<b>(5年後の目指す状態)</b>  地域活動への参加  【数値目標】 地域活動への参加状況 58.1%⇒61%	【KPI】「住みよい」理由の「まちに愛着がある」の割合 23.3% ⇒ 30%	活性化支援 【KSF】協議会同士の交流開催の継続	協議会同士の交流促進 事業取り組みへの助言・支援
		協働によるまちづくり	新たな枠組みでの地域課題への取組 【KSF】協働提案制度への応募数 4件 ⇒ 5件	協働提案制度の運用等の見直し アイデア提案制度の活用を検討 行政提案制度のあり方の見直し
		【KPI】市民参加・協働の推進の満足度 42.3% ⇒ 56%	市民団体との協働の継続と支援強化 【KSF】市民団体との協働事業の実施数 116件⇒136件	ミニ鉄道運転会の実施とPR強化 ふるさと祭りの実施 NPO等への支援

# 文化芸術・文化財

基本方針	基本政策	基本施策	取組	具体的な取組
<p>くらし つながり 生活環境</p>	<p>心豊かな生活を送ることができる</p>	<p>市民の文化芸術の振興</p>	<p>安全で快適な施設提供 【KSF】公マネ個別計画の策定・運用</p>	<p>計画的な施設の修繕等 ユニバーサルデザインを意識した施設運営</p>
		<p>【KPI】文化芸術活動環境に関する満足度 文化芸術に関する市民アンケート（未取得）</p>	<p>活動への支援 【KSF】支援をした件数 2件⇒2件以上</p>	<p>文化祭の開催支援 文化芸術振興基金の活用等による財政的な支援</p>
		<p>キラリ☆ふじみを中心とした文化芸術の振興</p>	<p>鑑賞機会の充実 【KSF】参加者数 現状より拡大（現状： 32,449人）</p>	<p>キラリ☆ふじみの文化創造事業 舞台芸術鑑賞会の実施 無料コンサートの実施 文化祭の開催</p>
		<p>参加・発表機会の充実 【KSF】参加者数 現状より拡大（現状： 31,153人）</p>	<p>キラリ☆ふじみによる文化創造事業の推進（参加） 子ども☆文化芸術大学の開校 文化祭の開催（再掲）</p>	
	<p><b>（5年後の目指す状態）</b></p> <p>文化芸術による豊かさの実感</p> <p>【数値目標】 「市民文化の創造」に対する満足度 51.7%⇒56.2%</p>	<p>【KPI】文化芸術振興事業に関する満足度 文化芸術に関する市民アンケート（未取得）</p>	<p>情報発表の充実 【KSF】「事業や文化活動の情報が少ない」と回答した割合（市民意識調査） 23.2%⇒23.2%以下</p>	<p>広報「富士見」・ホームページ・SNSを活用した情報発信 チラシ・ポスターを活用した情報発信</p>
	<p>文化芸術によるまちづくり</p> <p>【KPI】「豊かな生活が送れている」と回答した割合 文化芸術に関する市民アンケート（未取得）</p>	<p>日常生活の中での文化芸術の推進 【KSF】アクションプラン事業数 現状維持・拡大（現状：57事業）</p>	<p>生活に身近な場所でのコンサート等の実施 まちなかを活用したアート空間の創出</p>	

基本方針	基本政策	基本施策	取組	具体的な取組
つながり 成長	地域の歴史や伝統文化をと おして地域に魅力を感じる	文化財の保存	埋蔵文化財に関する適切な対応・指導・周知 【KSF】年間の発掘調査件数 35件（維持）	埋蔵文化財の照会・手続き体制の充実 埋蔵文化財の周知の強化 関係部署との連携
			文化財の保存体制の拡充 【KSF】保管施設の集約化	資料保管施設の整備
		【KPI】市指定文化財の件数 33件⇒36件	文化財の散逸防止 【KSF】発掘調査成果を記した文化財報告書の 刊行（継続）	指定文化財候補の検討と指定の拡充 歴史・民俗資料の収集と保管
			資料の適切な保存 【KSF】保存処理件数 0件⇒5件	劣化の著しい資料の保存処理の実施 歴史・民俗資料の収集と保管
	<b>（5年後の目指す状態）</b>	【KPI】「富士見市で魅力ある資源」のうち、郷土芸能 の割合（市民意識調査） 1.6%⇒2%	郷土芸能の継承活動の支援 【KSF】市指定文化財の郷土芸能保存団体の 活動継続	郷土芸能カレンダーの作成・配布 HPを利用した音源や動画の提供 財政的な支援
	歴史の関心度の増加  【数値目標】 「富士見市で魅力ある資源」 のうち、歴史・史跡等の割合 （市民意識調査）  20%⇒25%	【KPI】「富士見市で魅力ある資源」のうち、郷土芸能 の割合（市民意識調査） 1.6%⇒2%	地域の伝統工芸の継承活動の支援 【KSF】継承活動のための資料館利用回数 20回⇒24回	伝統工芸の継承活動の支援 伝統工芸の周知
文化財の活用	情報発信の強化 【KSF】年間の展示などの情報発信の企画件数 1件⇒3件	公共的施設を利用した発掘成果の発信 指定文化財マップの作成・配布 デジタル資料の活用		
【KPI】資料館来館者数(水子貝塚資料館・難波田 城資料館) 99,942人 ⇒ 110,000人	歴史公園・資料館施設の活用 【KSF】主催・共催事業実施数 210回（5年 累計）	歴史公園・資料館の維持管理 常設展示の充実と企画展示の開催 講座等の学習型主催・共催事業の実施 参加・体験型主催・共催事業の実施 施設を活かしたイベント型主催・共催事業の実施 学校教育との連携 市民学芸員や友の会等の市民との協働		

# シティプロモーション

基本方針	基本政策
成長	<p>富士見市のファンが増え、賑わいが生まれている</p>
	<p><b>(5年後の目指す状態)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民の市への愛着が強まっている</li> <li>・市外から訪れる人が増加している</li> </ul> <p>【数値目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「市に愛着を持っている」人の割合 (CPIに関する市民アンケート：未取得)</li> <li>・滞在人口の増加 (RESAS) 休日 88,000人以上</li> </ul>

基本施策	取組	具体的な取組
<p>インナープロモーションにより、市民の愛着を醸成</p>	<p>市のイメージアップ 【KSF】新たな資源の発掘数 1件以上</p>	<p>地域資源の活用 (ふわっぴー、P R大使、コスモス街道、桜の維持・管理、湧水、特長的な公園、地域活性化研究会との連携) 地域に埋もれた新しい資源の発掘 住環境の整備</p>
	<p>情報発信の充実 【KSF】市ホームページの満足度 (市民意識調査) 53.0% (H30) ⇒60%</p>	<p>広報富士見・ホームページ・SNSによる情報発信 観光情報アプリを活用した情報発信 P R大使・ふわっぴーによる魅力の発信 プロモーションビデオによる配信・放映</p>
<p>【KPI】「住み続けたい」と回答した割合 (市民意識調査) 77.4%⇒80.8%</p>	<p>イベント等の充実 【KSF】各種イベントの実施 維持・充実</p>	<p>50周年事業など各種イベント等の開催 各種イベント等の内容の充実</p>
	<p>富士見ブランドの推進 【KSF】ブランドの育成・創出数 5件⇒10件</p>	<p>富士見ブランドの育成・創出 (仮) 富士見ブランド認定制度の検討 農業・商工業の充実</p>
<p>アウトプロモーションにより、市外の人々の訪問意欲喚起</p>	<p>情報発信及び発信力の強化 【KSF】市ホームページの年間閲覧件数 1,391,518件 (R1) ⇒1,470,000件</p>	<p>マス広告 (新聞・雑誌・テレビ・ラジオ)、セールスプロモーション広告 (デジタルサイネージ、交通広告など)、インターネット広告の活用 報道機関への積極的な記事提供 紙面編集等技術力向上のための研修への参加・実施</p>
	<p>【KPI】認知度 (地域ブランド調査) 現状：456位⇒向上</p>	<p>P R活動の強化 【KSF】イベントへの参加数 11件 (R1) ⇒11件以上</p>

# 環境

基本方針	基本政策	基本施策	取組	具体的な取組
生活環境成長	快適な生活環境で過ごすことができる	不法投棄対策の推進  【KPI】不法投棄物の削減 20,000kg⇒15,000kg	不法投棄対策 【KSF】看板の設置・提供数 60（維持）  不法投棄物の回収及び処理体制の充実 【KSF】スムーズな改修・処理の実施	不法投棄防止啓発看板の設置・提供 県や警察と連携した不法投棄対策  関係機関と連携した不法投棄物の回収及び処理 不法投棄物の情報収集体制の充実
	<b>(5年後の目指す状態)</b>  快適な生活空間形成の推進  【数値目標】 基本施策の【KPI】のすべてを達成	公害対策（大気・騒音・悪臭・放射能など）の推進	公害等監視体制の充実 【KSF】年間測定回数 1回⇒1回 放射線量測定 6回⇒6回	公害調査及び測定の実施（大気質・ダイオキシン類・河川水質・自動車騒音） 公共施設における空間放射線量測定の実施 給食食材等の放射性物質測定の実施
		【KPI】環境基準の達成 環境基準達成の継続	相談体制の充実 【KSF】公害の未然防止 公害相談件数60件⇒40件	公害等の相談に対する迅速な対応 騒音、振動、野焼き等に関する周知啓発
		きれいなまちづくり  【KPI】公共空間における環境美化活動の継続 クリーン作戦でのごみ回収量 9,400kg ⇒ 10,400kg	環境美化活動の推進 【KSF】環境美化活動参加人数 8,000人⇒8,500人  路上喫煙対策の推進 【KSF】街頭キャンペーン実施数 2回/年 ⇒継続	環境美化活動（クリーン作戦）への支援 環境問題啓発ポスター展を通じた環境問題への意識啓発（環境分野全般） 「富士見市をきれいにする日」の普及啓発  「富士見市をきれいにする条例」の周知啓発 富士見市環境施策推進市民会議との協働による街頭キャンペーンの実施 啓発用路面シール等の維持管理



基本方針	基本政策	基本施策	取組	具体的な取組
生活環境成長	持続可能な生活環境で過ごすことができる	資源の活用（省エネ・再生可能エネルギー）	省エネルギーの推進 【KSF】新しい技術の導入 導入件数 3件以上	市の事務事業における温室効果ガス排出量の削減に向けた各種取組みの実施（クールビズ、照明のLED化等） 低燃費車及び低公害車の導入 次世代自動車の購入補助（EV・PHV）
		再生可能エネルギーの活用推進 【KSF】地球温暖化防止活動支援補助金交付件数 76件⇒80件	エコライフの推進 【KSF】エコライフDAY参加人数 延べ21,000人⇒延べ22,000人	地球温暖化防止活動に対する補助金の交付 公共施設における再生可能エネルギーの導入  エコライフDAY埼玉への参加、街頭キャンペーンの実施
	【KPI】温室効果ガスの削減（市の事務事業による）削減率 412,451t⇒344,116t(CO2) H26年度比17.6%減（R4年目標）	資源循環型社会の推進 【KSF】資源循環の取組の継続	温室効果ガス吸収源対策の推進 【KSF】公共施設壁面緑化実施施設数 22施設⇒32施設	学校等における落ち葉の堆肥化 公園剪定枝のチップ化  公共施設における壁面緑化の実施（ヘチマの種配布を含む。） 保存樹木・保存樹林制度の活用
	<b>(5年後の目指す状態)</b>	温暖化対策の推進	スマートムーブの推進 【KSF】スマートムーブの推進に向けた施策の実施	交通弱者に配慮したインフラ整備の推進 エコドライブの推進
	身近な環境を守る活動の充実  【数値目標】 基本施策の【KPI】のすべてを達成	ゴミの減量化の推進	ごみの発生抑制 【KSF】取組数量 3,000⇒3,000（水切りネット配布枚数）	4Rの普及啓発 食品ロス削減に向けた取り組み 生ごみの水切りネットの配布 プラスチックごみ削減の取り組み
	【KPI】温室効果ガスの削減 削減率 412,451t⇒344,116t(CO2) H26年度比17.6%減（R4年目標）	【KPI】ごみ総排出量 29,490t⇒次期計画で設定（R3年度から改定予定）	ごみの資源化 【KSF】資源化量 115,981kg⇒維持向上	公共施設から排出される生ごみの堆肥化 定期資源回収、集団資源回収奨励金の交付

# 下水

基本方針	基本政策	基本施策	取組	具体的な取組
生活環境	快適で安心な生活環境で過ごすことができる	河川の水質保全	公共下水道（污水）の普及率向上 【KSF】特定環境保全公共下水道区域の污水管渠整備率 69.4% ⇒ 100%	未普及地域の管渠整備（特定環境保全公共下水道区域）
	<b>(5年後の目指す状態)</b>	【KPI】公共下水道（污水）の普及率（処理区域内人口／行政人口） 98.4%⇒100%	公共下水道（污水）の水洗化率向上 【KSF】水洗化率（水洗化人口／処理区域内人口） 99.1%⇒99.5%	未接続世帯への指導（職員による個別訪問や接続促進通知書の送付）
			内水対策の推進	雨水処理施設の整備 【KSF】ポンプ吐出量 2.45m <sup>3</sup> /s⇒3.3m <sup>3</sup> /s
	【KPI】内水対策完了済面積 271.87ha⇒286ha	雨水管渠の整備 【KSF】別所雨水幹線整備延長 497m⇒1,448m		別所雨水幹線の整備
		内水対策調査に基づく対策の実施 【KSF】解析調査検証（R2）に基づく対策の実施	内水対策調査結果に基づく優先箇所の対策の実施 勝瀬地区（砂川堀排水区）、水子地区（柳瀬川排水区）、水谷東地区（新河岸川排水区）など	
		内水ハザードマップの周知 【KSF】毎年、広報誌等に掲載	市民への周知（ハザードマップによる防災意識の啓発）	
		管渠施設の適正管理 【KPI】計画の中で設定	ストックマネジメント計画に基づく更新（污水管渠） 【KSF】更新計画（R2策定）に基づく更新の実施	ストックマネジメント計画（管渠）の策定に基づく計画的な更新の実施

# 水道

基本方針	基本政策	基本施策	取組	具体的な取組
生活環境	安心で安定的な水道水を使用できる	水質・水圧の管理体制の充実	水質の管理 【KSF】浄水場滅菌設備の更新 2ヶ所（全4ヶ所）	東大久保浄水場滅菌設備の更新 水谷浄水場滅菌設備の更新 市ホームページにおける毎月の水質結果の公表
		【KPI】水道法に基づく水質検査項目の合格 継続	水圧の管理 【KSF】水圧の常時監視 市内全域で常時0.15MPa以上を確保	東大久保浄水場による浄水場及び配水場の一括水圧制御 市内7箇所の路上局による24時間水圧監視 路上局の点検及び修繕
		漏水減少の取組みの推進	老朽管の更新 【KSF】老朽管の計画的な更新 更新延長1.3km⇒更新延長6.5km	アセットマネジメントに基づく老朽管の計画的な更新
	<b>(5年後の目指す状態)</b>	【KPI】漏水件数の削減 200件/年 ⇒ 170件/年	定期的な調査の実施 【KSF】5年間で市内全域の漏水調査を実施	漏水調査の実施 漏水当番体制の充実
	安心で安定的な水道の維持	緊急時の備えの充実	基幹管路及び重要施設までの管路の耐震化 【KSF】耐震化工事 1箇所/年 以上	基幹管路及び重要施設までの管路の耐震化
	【数値目標】 有効水量の向上 96.97%⇒98%	【KPI】上水道の基幹管路の耐震化率の向上 58%⇒64%	災害時における応急体制 【KSF】応急給水訓練 1回/年	県水直送管の整備など災害時に備えたバックアップ機能の強化 応急給水・応急復旧対策の強化 非常用飲料水袋を常備
		水道事業運営の充実	環境に配慮した水道事業 【KSF】計画的な施設更新の実施	地下水の適正利用の継続 東大久保浄水場の省電力化ポンプの更新 水谷浄水場の省電力化ポンプの更新
		【KPI】水道普及率の向上 99.2%⇒99.3%	利用者サービスの向上 【KSF】埼玉県への高度浄水処理の導入要望 1回/年 以上	料金徴収等の民間委託 新たなサービスの検討 広報富士見や市ホームページ等で水道に関する情報を提供

# 道路

基本方針	基本政策	基本施策	取組	具体的な取組
生活環境成長	円滑な移動と安全性が確保される	広域幹線道路・幹線道路整備の推進	幹線道路網の推進 【KSF】整備延長1.81km	市道第5131号線の整備（富士見橋通線） 0.38km 市道第5101号線の整備（勝瀬） 0.30km 市道第5118号線の整備（みずほ台駅東通線） 0.41km 市道第5130号線の整備（水子鶴馬通線：県事業） 0.72km（ほか）
			幹線道路の改修・補修 【KSF】舗装修繕延長 13.9km以上※ ※20年で幹線級の全道路を更新するために必要な延長	舗装性状調査による計画的な舗装修繕 道路詳細調査による適切な修繕方法の選定 道路側溝改修などによる道路環境の整備 橋梁定期点検による計画的な予防保全の実施 ガードレール、ポラード、グリーンベルトなど交通安全施設の整備 危険箇所（交差点、踏切など）の調査検討
			幹線道路の維持管理 【KSF】パトロールの実施回数 146回 ⇒ 146回/年以上	パトロールによる道路等の不具合早期発見 高木、低木の定期的な剪定 道路側溝堆積物の撤去 舗装性状調査による修繕箇所の検討 橋梁定期点検による修繕箇所の検討
	(5年後の目指す状態)  安全で快適な交通環境  【数値目標】 道路整備の満足度（市民意識調査） 39.2%⇒50.0%	生活道路整備の推進  【KPI】生活道路整備延長： 185.2km/349.9km（52.93%）⇒ 185.8km/349.9km（53.10%）	生活道路網の推進 【KSF】整備延長0.80km以上	未整備路線の整備の実施
	生活道路の改修・補修 【KSF】安全な道路の確保に向けた早期対応の実施	道路側溝改修などによる道路環境の整備 橋梁定期点検による計画的な予防保全の実施 ガードレール、ポラード、グリーンベルトなど交通安全施設の整備 危険箇所（交差点、踏切など）の調査検討		
	生活道路の維持管理 【KSF】パトロールの実施回数 146回 ⇒ 146回/年以上	パトロールによる道路等の不具合早期発見 路肩の除草 道路側溝堆積物の撤去 舗装性状調査による修繕箇所の検討 橋梁定期点検による修繕箇所の検討		

# 治水

基本方針	基本政策	基本施策	取組	具体的な取組
生活環境	安全な生活環境で過ごせる	流域対策の推進	流出抑制施設の整備 【KSF】開発事業者への宅内浸透施設の設置要請	唐沢堀流域（西みずほ台地区）浸透施設の設置 水谷小学校浸透井の増掘 各戸雨水貯留の推進 水谷調節池整備（県事業）との調整
	<b>（5年後の目指す状態）</b>  浸水被害の軽減  <b>【数値目標】</b> 床上・床下浸水戸数※の軽減 394戸⇒0戸（同一降雨量を前提） ※過去5年間（H27年度～R1年度）の累計	【KPI】浸透施設整備（延長1.4km以上）	流出抑制施設の維持管理 【KSF】学校貯留浸透施設の清掃 浸透井：15箇所 側溝：3,350m	学校貯留浸透施設（浸透井、側溝）の清掃 L型浸透トレンチ、集水桝の清掃 調整池の堆積土の撤去 点検による施設不具合の早期発見
		浸水対策の推進	雨水処理施設の整備 【KSF】必要性や優先順位を踏まえた計画的な更新計画の策定	凶川排水機場の増強 前谷排水機場の改修 貝塚第一・第二排水機場の改修 砂川堀第二樋管ポンプ施設の検討 唐沢堀の改修計画の検討 更新時期を迎える排水ポンプなどの交換 ゲートの自動化、水位標設置の検討 災害用ポンプの設置
		【KPI】計画的な施設整備の実施	雨水処理施設の維持管理 【KSF】災害時を想定した職員による施設などの動作確認 2回/年以上	点検による施設不具合の早期発見 河川・水路の維持管理（草刈、改修） ポンプ機器点検による修繕内容の検討 非常通報装置の設置 災害対応訓練の実施（エンジンポンプ、ゲートなどの操作） 豪雨時の水位調査の実施

# 公共交通

基本方針	基本政策	基本施策	取組	具体的な取組
生活環境	安心して円滑に移動ができる	地域公共交通網の充実	市内公共交通の充実 KSF:市内循環バス及びデマンドタクシーを含めた市内交通の検証の実施	市内循環バスの検証 デマンドタクシーの検証
			市内循環バスの広域連携の強化 【KSF】広域連携に向けた担当者会議の充実 1回/年 ⇒ 2回/年	広域連携に向けた具体的方策の検討
	KPI:市内循環バスの利用者数 183,079人⇒185,000人	民間の公共交通機関との連携 【KSF】地域公共交通会議 継続	富士見市地域公共交通会議での協議 MaaSなどの新たな公共交通システムの検討 東武東上線対策協議会において要望活動の実施(ホームドアの設置など)	
	<b>(5年後の目指す状態)</b>  移動利便性の向上  【数値目標】 移動に不便を感じている人の割合(未取得) (意識調査)	鉄道駅周辺の安全性の向上	駐車場施設の充実 【KSF】協力店舗数 0店舗 ⇒ 2店舗	駐輪場・駐車場の運営 駅近隣の店舗及び鉄道事業者と協力体制の強化
	【KPI】放置自転車・違法駐車対策の推進の満足度 59.5% ⇒ 65%	放置自転車の抑制 【KSF】放置自転車の台数 33,700台 ⇒ 32,000台	放置自転車の撤去 放置自転車等の指導・整理員による指導・整理	

# 土地利用

基本方針	基本政策	基本施策	取組	具体的な取組
	すべての世代が暮らしやすいまちになる	市街化区域の土地利用	都市計画制度を活用した良好な住宅市街地の形成 【KSF】都市計画制度に関する周知の徹底	地域地区（用途地域、防火・準防火地域）の適切な運用 地区計画の適切な運用による建築物等の規制・誘導 地域の実情に即した地域地区等の導入の検討と活用 開発許可制度の適切な運用
		【KPI】適切な住居系市街化区域面積の維持 806.6ha⇒維持	都市農地の保全と活用 【KSF】生産緑地地区の面積維持 78.26ha	生産緑地地区の保全（生産機能、景観機能など） 生産緑地地区の活用（公共施設の検討用地、防災協力農地登録制度の推進など） 生産緑地地区の追加指定の促進
	<b>(5年後の目指す状態)</b>	市街化調整区域の土地利用	優良な農地の保全 【KSF】農業振興地域内農用地区域の面積維持 377.8ha	生産基盤としての農地の保全 農振法・農地法に則した土地利用転換の指導 開発許可制度の適切な運用
		【KPI】市街化調整区域面積の維持 1,121.0ha⇒維持	集落内の生活環境の保全 【KSF】公共水域の保全	開発許可制度の適切な運用 農振法・農地法に則した土地利用転換の指導
	住みごこちの向上  <b>【数値目標】</b> (市民意識調査) 「住みよい」の割合 74%⇒76%	計画的な土地利用転換推進ゾーンの土地利用	シティゾーンの整備推進（Bゾーン） 【KSF】Bゾーン企業誘致率（面積比） 100%	埼玉県企業局と共同事業による産業団地の整備 産業団地整備に伴う周辺公共施設の整備（道路、水路） 地区計画の決定及び準防火地域の指定
			シティゾーンの土地利用の推進（Dゾーン） 【KSF】具体的な土地利用方針の決定	産業団地整備に伴う周辺公共施設の整備（道路、水路） 市道第72号線の新設整備 県道三芳富士見線の整備（交差点、歩道拡幅）
			水谷柳瀬川ゾーンの土地利用の推進 【KSF】具体的な土地利用方針の決定	地元協議会運営に係る事務の実施 土地利用の転換に係る研究・調査 地元協議会との土地利用に係る協議
		【KPI】土地利用転換面積 19.1ha		

# 公園・緑

基本方針	基本政策	基本施策	取組	具体的な取組
つながり 成長	人が集う（ふれあう）場が確保されている	親水・親緑空間の創出  【KPI】湧水と緑の回廊整備 1か所	湧水の保全 【KSF】状況調査の実施	水質（水温、PH及び伝導率）の測定 碑文石等の設置 湧水マップの作成
			湧水の活用 【KSF】自然学習会の実施 2回	湧水の見える化 鶴田用水再生 自然学習会の実施
			水と緑の軸の形成 【KSF】回廊マップの作成	水と緑を散策路で結び回廊整備 回廊マップ作成
		新たな交流拠点の整備	びん沼自然公園の整備 【KSF】整備完了（令和3年度末予定）	センターハウスの整備 パークゴルフ場の整備 大型遊具・展望台の整備
		【KPI】来場者数目標 50,000人/年(新規)	民間活力事業の実施 【KSF】民間活力を活用した事業開始（令和4年度から実施予定）	指定管理などの民間活力を活かした運営の検討
		【KPI】来場者数目標 50,000人/年(新規)	地域活性化事業の実施 【KSF】新たな地域活性化事業の実施（令和4年度から実施予定）	民間活力などを活用した新規事業の検討・実施
	公園・緑地の空間の増設  <b>（数値目標）</b> 公園の整備・緑化の推進の満足度の向上 63.1%⇒66%	公園の整備・維持管理	市民協働による維持管理の実施 【KSF】市民協働による公園管理実施数 4ヶ所⇒維持	花壇整理 ボランティア活動の支援
			施設・遊具の適正な維持管理 【KSF】施設保守点検 100%実施	公園内の施設・遊具などの点検・修繕及び改修 施設の安全点検確認の充実
			【KPI】住民1人当たりの公園面積 3.68㎡/人 ⇒ 3.74㎡/人 【KSF】8,000㎡	借地広場等の公有地化 休耕農地や空地の活用



基本方針	基本政策	基本施策	取組	具体的な取組	
生活環境	豊富な緑の中で生活ができる	豊かな自然の保全・活用	計画的な緑地の保全・活用 【KSF】公有地化する緑地面積 2,839㎡	緑地保全基金の活用により緑地の取得	
			市民緑地・緑の散歩道の保全・活用 【KSF】市民緑地・緑の散歩道面積 26,046.11㎡	緑地を市民緑地、緑の散歩道として開放 間伐、維持管理	
			社寺林・屋敷林・雑木林・斜面林の保全 【KSF】社寺林・屋敷林・雑木林・斜面林の面積 42,055.00㎡	保存樹林・保存樹木に対する助成	
	<b>(5年後の目指す状態)</b>  緑地の維持  <b>(数値目標)</b> 市内の緑地面積 68,101.11㎡⇒88,101.11㎡	【KPI】保全できた緑地面積 68,101.11㎡⇒維持	緑化の推進	公共施設の緑化の推進 【KSF】継続した保全	道路、駅周辺、公園、学校などの公共施設の緑化の推進
				個人宅への緑化の推進 【KSF】継続した緑地の推進	生垣設置補助など個人住宅の緑化を促進
				企業への緑化の推進 【KSF】継続した緑地の推進	開発の際、緑地確保の指導
【KPI】緑地面積 20,000㎡ (新規確保)					

# 住環境

基本方針	基本政策	基本施策	取組	具体的な取組
生活環境	良好な住環境の基で生活 ができる	空家等の対策	空家の発生抑制 【KSF】空家データベース登録件数 600件（現状値）⇒777件（目標件数）	相談体制の充実 発生抑制に向けた周知啓発 空家の実態把握・データベース管理
			空家の流通・利活用 【KSF】空家所有者からの相談件数（計画期 間の累計） 19件 ⇒ 95件	空家バンクによる流通促進 空家のワンストップ利活用相談に関する情報発信 空家の改修や利活用の促進 狭小地等の解消（隣地統合の促進）
	空家の適正管理 【KSF】空家の改善・解決件数（計画期間の累 計） 35件 ⇒ 175件		所有者による適正管理 空家の除却促進・支援 特定空家等に対する措置	
	居住環境の向上  <b>（数値目標）</b> 「住み続けたい」の満足度 （意識調査） 77.4% ⇒ 83.1%	【KPI】その他の空家件数 将来予測値2,073戸⇒目標値1,970戸 （将来予測値から5%減少させる）	空き地の流通・利活用 【KSF】空き地所有者からの相談件数 1件以上	空き地バンク等による流通促進 利活用相談等に関する情報発信 空き地の寄附受入れ
		空き地の対策	空き地の適正管理 【KSF】速やかな所有者への適正管理への通知・連 絡の実施	所有者による適正管理の促進
			所有者不明土地対策 【KSF】地域福利増進事業の実施数 1件以上	所有者不明土地の実態把握 解決方法の検討 所有者不明土地の活用
	居住支援	【KPI】“住みやすさ”の市民満足度（意識調 査） 52.9% ⇒ 55.0%	住宅確保要配慮者の支援 【KSF】あんしん賃貸住まいサポート店の斡旋件 数 向上（未取得）	埼玉県住まい安心支援ネットワークセミナーへの参加 セーフティネット住宅の登録促進 居住支援情報の周知 住宅確保要配慮者支援策の研究
			住まいのステップアップ支援 【KSF】理想の住まいの実現に係る施策の実施 住宅リフォーム相談件数 14件⇒20件	住宅取得支援の検討 住宅リフォームの支援 住まいに関する情報の周知

良好な居住環境の形成	地域の特性に併せた景観形成 【KSF】景観条例勧告件数 0件⇒0件	埼玉県景観条例の運用 建築協定活用の支援
	鉄道3駅及び周辺の景観形成 【KSF】違反指導による是正率 90%⇒100%	屋外広告物条例の適正化の推進 違法広告物の撤去
【KPI】“住みやすさ”の市民満足度（意識調査） 52.9% ⇒ 55.0%	計画的な市街地整備の推進 【KSF】土地区画整理事業の完了 3地区	鶴瀬駅西口土地区画整理事業の推進 鶴瀬駅東口土地区画整理事業の推進 諏訪地区土地区画整理事業の促進
	密集市街地の改善・対策 【KSF】「地域防災力の向上」満足度（意識調査） 50%⇒62.5%	防火・準防火地域の追加指定の検討 密集市街地における空地の確保 狭あい道路拡幅整備事業補助制度策定検討

# 商工

基本方針	基本政策	基本施策	取組	具体的な取組
生活環境	市内で買い物が不便なくできる	買物利便性の向上 【KPI】 近くの店舗や商店街の利用頻度の向上（利用が増加している割合） 7.1%⇒12.4%（商業活性化ビジョンアンケート）	買物支援 【KSF】買物支援策の実施 1事業以上	商店街等が行う買い物弱者対策への支援 個店情報の提供の充実 移動商店街・宅配事業者への支援 不足業種の誘致 地域版ふじみマーケットの開催
	<b>（5年後の目指す状態）</b> 市内消費の拡大  <b>（数値目標）</b> 市内消費割合 60%⇒70%	商店街・商店の活性化	商店会等組織の再構築・強化 【KSF】再編した商店会数実績 2商店会⇒4商店会	商店街イベントへの支援 産業活性化アドバイザーの派遣 大学等との連携 商店街懇談会の開催 地域コミュニティの拠点の整備
	【KPI】小売業の事業所数 537事業所 ⇒ 550事業所（経済センサス）	創業支援 【KSF】商店街空き店舗出店事業補助を活用した新規創業者数（年間） 3.6件⇒5件	創業支援事業計画の推進（セミナー・フォロー） 新規創業者利子補給金 商店街空き店舗出店事業費補助 チャレンジショップの開設 大学等との連携（再掲）	
	個店の経営力向上のための支援	個店の魅力・認知度の向上 【KSF】一店逸品運動の参加事業所数 34事業所 ⇒ 40事業所	一店逸品運動・賑わいづくり事業等への支援 経営改善事業の実施（産業振興基金の活用） ふじみマーケット・賑わいづくり事業への支援 事業所訪問等によるPR	
	個店への経済的支援 【KSF】埼玉県経営革新計画認定事業所 5事業所／年→8事業所／年	経営革新計画承認による県制度融資 特許出願費用の補助（産業振興基金の活用） ふじみ産業元気づくり事業補助 商店街活性化推進事業補助 既存店舗改装工事費用の補助など		

【KPI】支援した事業所の満足度 (未取得)	個店への人的支援 【KSF】各種講習会の開催回数 0回/年 ⇒ 3回/年	産業活性化アドバイザーの派遣 経営革新等講習会等の開催
販売促進	販売機会の充実 【KSF】いい富士見の日参加店舗 92店舗 ⇒100店舗	ふじみマーケット、まち☆バルなど各種イベントにおける販売促進の実施
【KPI】小売業の年間販売額の増 86,981百万 ⇒ 89,087 百万（経済センサス）	関係機関等との連携によるPRの推進 【KSF】まちづくり寄附謝礼品HP掲載件数 129品 ⇒ 150品	まちづくり寄附などの謝礼品としてのPR JAやららぽーとなどとの連携 民間企業などが主催するフェアへの出店 など

基本方針	基本政策
成長	<p>地域経済が潤ったまちで生活 できる</p> <p>(5年後の目指す状態) 製造業の付加価値額が増える</p> <p><b>(数値目標)</b> 市税全体における法人市民税の 構成比 4.1%→4.5%</p>

基本施策	取組	具体的な取組
良好なモノづくりの環境整備	先端設備等の導入 【KSF】先端設備等導入計画の認定数 5件⇒7件	富士見市中小企業チャレンジ支援事業補助金 生産性向上特別措置法による支援について など
【KPI】製造業の事業者数 154事業所 ⇒ 160事業所	市内企業間の連携推進 【KSF】交流機会の場の確保	市内の企業間の交流機会の提供
新たな工業基盤の強化	シティゾーンにおける企業誘致 【KSF】企業誘致の実現	埼玉県企業局と共同事業による産業団地の整備
【KPI】工業立地法における特定工場数 3事業所→6事業所	企業誘致に伴う市内外での連携推進 【KSF】市内外での情報共有強化策の実施	企業誘致に伴う連携機会の創出

# 農業

基本方針	基本政策	基本施策	取組	具体的な取組
つながり 生活環 境 成長	安心して農業が行える	農業基盤・農業環境の整備	農地の集積・維持 【KSF】農地耕作条件改善事業実施地区数 1地区 ⇒ 2地区	農地耕作条件改善事業の実施 人・農地プランの実質化 農地中間管理事業の実施
		【KPI】農地中間管理事業実施 面積 約8.8ha ⇒ 12ha	農道や水路などの維持・改修 【KSF】多面的機能支払交付金を活用した水路の補修 220m（5年間で延長）	農道の維持・改修の実施 小用水路工事等への補助実施
		農地の適正管理	耕作放棄地（候補地）の解消 【KSF】耕作放棄地（候補地）の解消に向けた農業委員会と連携したパトロール 年3回⇒年5回	農地耕作条件改善事業の実施（再掲） 農地中間管理事業の実施（再掲）
	(5年後の目指す状態) 農業を行うための環境の向上  (数値目標) 人・農地プラン対象面積 49ha⇒64ha	【KPI】耕作放棄地面積 6.2ha⇒6.2ha	優良農地の確保 【KSF】農地耕作条件改善事業実施地区数 1地区 ⇒ 2地区（再掲）	人・農地プランの実質化（再掲） 小規模土地改良事業等への支援 生産緑地制度の適切な運用
		担い手の育成・確保	意欲ある農業の担い手への支援 【KSF】認定農業者数 33経営体⇒40経営体	認定農業者等チャレンジ支援事業補助事業の充実 相談体制の充実 NPO法人等と連携した、高齢者・障がい者の農業分野への進出
			農業への理解促進 【KSF】市民農園の利用割合 88.8%⇒95%	農業体験事業の実施 市民農園 体験農園
		【KPI】新規就農者数（年度単位） 1名 ⇒ 1名（毎年度）	関係機関との連携した取組の推進 【KSF】就農対策打合せ会（仮称）の開催 年4回（新規）	明日の農業担い手塾との連携 後継者対策協議会、地域農業再生協議会等と連携した農の魅力向上 国・県との連携

<p>儲かる農業の実現</p> <p>【KPI】経営耕地面積 510ha ⇒維持</p>	<p>経営改善の推進</p> <p>【KSF】経営改善を行った農家への支援実施</p>	<p>6次産業化の検討</p> <p>品種改良の支援</p> <p>スマート農業の推進</p> <p>付加価値の高い品種への転換</p>
	<p>反収の増</p> <p>【KSF】1経営体あたりの平均農業産出額 280万円 ⇒ 300万円 (RESAS)</p>	<p>農地耕作条件改善事業の実施 (再掲)</p> <p>県・J A等と連携した技術指導</p> <p>水田フル活用の推進</p> <p>農地中間管理事業の実施 (再掲)</p>
	<p>地産地消の推進</p> <p>【KSF】近隣大型スーパーでの取り扱い件数 3 店舗⇒4店舗</p>	<p>県・J Aとの連携</p> <p>地産地消イベントの開催</p> <p>新しい商品の開発</p>

# 就労

基本方針	基本政策	基本施策	取組	具体的な取組
成長	多様な働き方の実現	労働環境の整備	働きやすい環境の整備（雇用主） 【KSF】働き方改革に関する取り組み事業所（助成） 0事業所⇒ 3 事業所	先端設備導入計画に基づく事業所への支援 設備投資導入への支援（産業振興基金の活用） 働き方改革等に関する事業所への啓発・支援 中小企業退職金共済制度への支援 リモートワークなどの新たな働き方の推進
		【KPI】働き方改革に関する取組モデル事業所（埼玉県） 0事業所⇒ 3 事業所	勤労者福祉の向上（勤労者） 【KSF】中小企業退職金共済掛金制度の情報提供と活用（継続）	労働団体への支援 相談体制の充実 中小企業退職金共済制度への支援（再掲）
	(5年後の目指す状態)  多様な働き方が出来る社会  就業者数（国勢調査） 52,330人 ⇒ 54,100人	あらゆる方の就労を促進	女性の就労促進 【KSF】セミナー参加率 60%⇒70%	国・県・広域等で取り組む女性向けセミナーの充実 女性向け就労相談事業の実施 女性の起業支援
		高齢者の就労促進 【KSF】セミナー参加率 55%⇒60%	国・県・広域等で取り組む高齢者向けセミナーの充実 高齢者向け就労相談事業の実施 高齢者の起業支援	
		若者等の就労促進 【KSF】新規学卒・若者就職面接会参加事業所数 159社（累計）⇒ 170社（累計）	国・県・広域等で取り組む若者向けセミナーの充実 若者就職面接会の開催 起業支援	
		【KPI】ふるさとハローワークにおける就職率 19.5%⇒25%	障がい者の就労支援 【KSF】障がい者就職面接会の参加者 126名 ⇒ 150名	法定雇用率等に関する雇用主への啓発 障がい者就職面接会の開催